

令和4年度 全国学力・学習状況調査 鴻巣市の結果の概要【中学校】

1 鴻巣市と埼玉県・全国との正答率比較

	国語	数学	理科
鴻巣市	70	49	48
埼玉県	70	52	49
全国	69.0	51.4	49.3

2 中学校各教科の領域・区分等について

国語	「話すこと・聞くこと」は、全国平均を上回り、県平均を下回っています。 「書くこと」は、全国・県平均を上回っています。 「読むこと」は、全国・県平均を下回っています。 「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国・県平均を下回っています。 「情報の扱い方に関する事項」は、全国・県平均を上回っています。 「我が国の言語文化に関する事項」は、全国・県平均を上回っています。
数学	「数と式」は、全国・県平均を下回っています。 「図形」は、全国・県平均を上回っています。 「関数」は、全国・県平均を下回っています。 「データの活用」は、全国・県平均を下回っています。
理科	「エネルギー」を柱とする領域は、全国・県平均を下回っています。 「粒子」を柱とする領域は、全国・県平均を下回っています。 「生命」を柱とする領域は、全国・県平均を下回っています。 「地球」を柱とする領域は、全国・県平均を下回っています。

3 質問紙調査から（一部抜粋）当てはまる・どちらかといえば当てはまるを選んだ生徒の割合

質問事項	鴻巣市	埼玉県	(差)	全国	(差)
学校に行くのは楽しいと思いますか	85.8	84.5	+1.3	82.9	+2.9
将来の夢や目標を持っていますか	67.7	68.9	-1.2	67.3	+0.4
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (学校の授業の予習や復習を含む)	61.7	60.3	+1.4	58.5	+3.2
1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	74.7	77.9	-3.2	75.3	-0.6
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	79.8	82.5	-2.7	78.7	+1.1
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	79.7	78.7	+1.0	76.9	+2.8
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	40.2	40.8	-0.6	40.7	-0.5
国語の勉強は大切だと思いますか	93.3	94.0	-0.7	93.2	+0.1
数学の勉強は大切だと思いますか	87.5	86.3	+1.2	86.6	+0.9
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	88.4	88.5	-0.1	85.5	+2.9

4 学習指導改善のための今後の方策

各学校の実情に応じて、以下の取組を推進してまいります。

【鴻巣市学習指導の重点】

- 学習課題を明確にし、児童生徒が見通しをもって学習するとともに、学んだことを自分の言葉で表現するなど、一人一人が学習の成果を振り返ることができる授業を展開していきます。
- 学習課題について一人一人が考える時間を十分に確保し、自分の考えをもって他者と交流することで、考えを深めていくことができる授業を展開していきます。
- 学んだことが確実に定着するよう、授業の中でまとめの練習問題に取り組むとともに、新たな課題を見付けたり、日常生活に活用したりできる授業を展開していきます。

【各教科における指導方法の改善】＜国語＞

○〔言葉の特徴や使い方に関する事項〕＜重点：表現の技法について理解する＞

- ・文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることが大切です。小学校までの学習を踏まえ、「比喩」「反復」「倒置」「体言止め」などの名称で呼ばれている表現の技法をその意味や用法と結び付けて理解し、話や文章の中で使うことができるよう、指導していきます。

○〔我が国の言語文化に関する事項〕＜重点：漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する＞

- ・行書の文字に書き慣れ、各教科等の学習や生活の中で読みやすく速く書くためには、漢字の行書の基礎的な書き方を理解し、読み手への伝達を意識して書くことが大切です。これまでの書写の学習で身に付けた知識や技能を生かし、字形や文字の大きさ、配列などに配慮して書くように、指導していきます。

○〔話すこと・聞くこと〕＜重点：聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する＞

- ・自分の考えを話す際には、場の状況や聞き手の興味・関心、情報量などを考慮しながら、聞き手に応じた語句を選択したり、呼びかけや問いかけをしたりするなどして、相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫することが大切です。ペアやグループでそれぞれのスピーチを比べたり、他学年のスピーチの動画を視聴したりして、分かりやすく伝えるための具体的な工夫について考えるように、指導していきます。

○〔書くこと〕＜重点：自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く＞

- ・自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確かめることが大切です。自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠となる複数の事例や専門的な立場からの知見を引用することや、根拠を文章の中に記述する必要があること等を、指導していきます。

○〔読むこと〕＜重点：場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える＞

- ・文学的な文章を読む際には、文章の中の時間的、空間的な場面の展開、登場人物の相互関係や心情の変化、行動や情景の描写などに注意しながら読み進めることが大切です。細部の描写にも着目しながら物事の様子や場面、行動や心情などの変化を丁寧に捉えることを、指導していきます。

【各教科における指導方法の改善】＜数学＞

○〔数と式〕＜重点：自然数を素数の積で表すことができる＞

- ・自然数をその約数の積に表す活動を通して、表現された約数の積の中に素数の積があることを調べたり、素数の意味を確認したりする場面を設定し、指導していきます。

○〔図形〕＜重点：筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる＞

- ・結論を導くために何が分かればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見だし、事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて考えたりする活動を取り入れ、数学的に説明できるように、指導していきます。

○〔関数〕＜重点：一次関数の変化の割合の意味を理解している＞

- ・伴って変わる二つの数量 x 、 y の変化の様子を表から読み取り、一次関数 $y = ax + b$ の変化の割合を求めることができるようにすることが大切です。 x 、 y の増加量やその割合を調べる活動を通して、変化の割合の意味を理解できるように、指導していきます。

○〔データの活用〕＜重点：箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる＞

- ・箱ひげ図は複数のデータの分布を比較するときに、視覚的に比較がしやすい統計的な表現であることを確認することが大切です。日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、統計的に問題解決する際、問題を解決するために計画を立て、必要なデータを収集して処理し、データの分

布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断するという一連の活動を充実させ、指導していきます。

【各教科における指導方法の改善】<理科>

○ 「エネルギー」を柱とする領域 <重点：課題に正対した考察を行うためのグラフを作成することができる>

- ・課題に立ち返りながら考察を行うために、どのようなグラフを作成すればよいかを検討する学習場面を設定することが大切です。グラフの「横軸」と「縦軸」が何に当たるかを考え、グラフを作成することを、指導していきます。

○ 「粒子」を柱とする領域 <重点：液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を基に、状態変化に関する知識及び技能を活用することができる>

- ・状態変化に関する知識を身に付けるだけでなく、身近な現象で活用できる程度に概念等を理解することが大切です。状態変化に関する知識と身近な現象を関連付けて探求する学習場면을繰り返し設定する等し、指導していきます。

○ 「生命」を柱とする領域 <重点：予想や仮説と異なる結果が出る場合において、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探求の方法について検討し、探求の過程の見通しをもつことができる>

- ・問題を見いだして課題を設定し、科学的に探究するうえで、課題を解決するまでの探求の過程を見通すことが大切です。実験の計画を立案する場面で予想や仮説と異なる結果が出る場合を想定し、探求の方法について検討する学習場面を設定する等し、指導していきます。

○ 「地球」を柱とする領域 <重点：岩石に関する知識及び技能を活用することができる>

- ・岩石に関する知識及び技能を活用して判断することは、理科を学ぶことの意義や有用性を実感するうえで大切です。地域にどのような岩石が分布しているかを調べ、身に付けた岩石に関する知識及び技能を活用して、例えば化石が含まれる可能性の有無を判断する学習場面を設定するなどし、指導していきます。